

2023 (R5) 年 3 月 3 日
量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門
重粒子線がん治療装置等共同利用運営委員会
マシンタイム部会長 白井 敏之

HIMAC 共同利用研究における新型コロナウイルス感染症(COVID19)への対応について

HIMAC 共同利用研究は、一部に制限があるものの、来期も引き続き実施する予定です。しかしながら新型コロナウイルス感染症への対応は、状況変化や機構・所での今後の見直しに応じて変更等の可能性があります。特に、5 月には新型コロナウイルス感染症に対する政府対応の大幅見直しも予定されております。今後は、新しい情報等はメール等によりお知らせいたしますが、共同利用研究者の皆様にも、機構ホームページ <https://www.qst.go.jp> やその HIMAC 関係のページを御覧頂き、所内対応者との連絡を密にして頂けると幸いです。

現在、当機構では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止と感染リスクの低減を図るため、来所者の人数をできるだけ減らしていただくこと、来所者へ手洗いやアルコール消毒、マスク着用の推奨、風邪のような症状がある方には入構を見合わせて頂くことなど、感染拡大の防止に向けた対策をお願いしております。また、守衛所では、機構職員とのアポイントメントのない方の入構をお断りすることがあるため、事前に訪問日程を所内対応者(又は代理人)及び HIMAC 共同利用研究推進室にお知らせください。その際、最近、発熱や特定地域への訪問歴等が無く、感染症の疑いが無いことを確認させていただきます。

一方、所属国・機関の要請や日本国政府の規制により、HIMAC 共同利用研究者が当機構に来所できない状況になるケースも予想されます。これらの場合には、できるだけ速やかにマシンタイムキャンセルの連絡をマシンタイム部会事務局(MT 調整担当)himac_mtc@qst.go.jp 及び HIMAC 共同利用研究推進室 himac_riyou@qst.go.jp へ御送りくださるようお願いいたします。

皆様には、ご迷惑をおかけいたしますが、状況を御理解いただき、御協力くださいますようお願いいたします。

尚、次葉に HIMAC 共同利用研究推進室からの連絡を付しますので、宜しく願いいたします。

以上

前期マシンタイム実施に際して、注意事項

2023年3月3日

HIMAC 共同利用研究推進室

新型コロナウイルス感染症は現時点でも完全収束の見込みは立っておらず、感染予防・感染拡大防止対策を今後も続けていく必要があります。そのため、前期マシンタイムの実施においては、下記の点をご確認、ご理解頂けますようお願いいたします。

記

- ・当機構・所内での対策方針によりマシンタイムの供給が急に中止されること、または予定が変更されることがあります。なお、その際キャンセルとなったマシンタイムの補填は原則として行いません。投稿論文の補強のために緊急に必要等の特別の理由がある場合は、その理由を明記して当室及び MT 調整担当に要望ください。その場合も補填が保証される訳ではありません。
- ・来所期間内は、感染症予防の観点から当室で定める健康管理・感染予防対策を行っていただきます（詳細はその時点での通知をご確認下さい。来所される 1 週間前までには当室より連絡いたします）。
- ・現時点では準備室、細胞培養室などの使用時間(立ち入り時間)を制限しています。申請し許可された時間以外は利用できませんので、利用を希望される場合は申請時に明記してください。
- ・当機構・所の状況により、実験支援業務(動物飼育、液体窒素補充など)を急遽停止することがあります。それにより損害が発生しても(マウスを購入したが照射できないなど)補償はできません。
- ・配分されたマシンタイムについて、新型コロナウイルス感染症拡大予防を理由とするキャンセルで今後のマシンタイム配分や課題採択に於いて不利になることは一切ございません。体調不良の場合は無理をして来所せず、キャンセルしてください。
- ・実験期間中にグループ内で発熱者が出た場合は直ぐに HIMAC 共同利用研究推進室にご連絡頂くとともに調査にご協力ください。基本的に、罹患疑いで一旦実験を中止、発熱者が PCR 検査陽性と判明した場合はそれ以降の実験はキャンセルとなります。
- ・上記以外にも、新型コロナウイルス感染症の影響により現時点では想定できていない事態が起こりえます。所内対応者とよくご相談の上、申請をお願いいたします。

以上